

## 平成18年度に実施予定のゼロ予算事業

＜事業区分＞	
…行政サービスの向上	…医療福祉
…県民との協働	…健康づくり
…危機管理	…環境
…国際化対応	…県民生活
…景観形成	…ものづくり・産業振興
…情報化推進	…教育

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
1		市町村コンシェルジュ事業	県職員を「市町村コンシェルジュ」に任命し、住民に身近に接している市町村職員によらず相談窓口として活用してもらう。併せて、県職員の現場感覚を養い、その経験を今後の政策立案等に反映させる。	行政システム改革チーム 信州コールセンターチーム	
2		コモンズの視点から始まる公共事業 (公共事業「三位一体」モデル事業)	より円滑な事業を進めるため、県が行う公共事業の一部を市町村へ権限委譲する。	各現地機関 公共事業改革チーム 行政システム改革チーム 県土活用支援チーム ほか各チーム	
3		男女共同参画市町村キャラバン事業	市町村へ職員が訪問し、男女共同参画推進(条例・計画の策定等)を支援する。	ユマニテ・人間尊重チーム	
4		政策評価なんでも相談	市町村や現地機関からの評価理論や手法など政策評価に関する技術的な相談に応じ、市町村や現地機関の主体的な取組を支援する。	政策評価チーム	
5		地域政策プロジェクト推進事業 (コモンズ支援隊)	広域的な課題や市町村独自の政策課題を解決するため、市町村コンシェルジュ、市町村派遣職員、地域改革推進担当職員との連携により、コモンズ政策チームが関連部局から意欲ある職員を支援隊に募り、迅速かつ実効性のある地域政策プロジェクト等の支援策を市町村と協働して推進する。	コモンズ政策チーム	
6		NPO活動サポート事業	県の機関で不要となった物品をNPOに対し提供する。	NPO推進チーム	
7		市町村行財政運営サポート事業	特に厳しい行財政運営が予想される市町村に対して、行政改革、財政健全化、税収確保などの団体のニーズに応じて意見交換・助言や研修等を実施し、自主的・自律的な行財政運営を支援する。	市町村チーム	
8		市町村税徴収対策おでかけ懇談	県税チーム、地方事務所県税チームが市町村税務担当課に出向き、徴収対策や徴収率の低下等の課題を踏まえた意見交換・助言を行い、支援するとともに今後の市町村税務事務支援に生かしていく。	市町村チーム	新規
9		夜間及び休日窓口の開設	地域の実情に応じ各地方事務所県税チームにおいて、夜間及び休日窓口を開設し、納税機会の拡大を図る。	各地方事務所	
10		自動車税納期内納付キャンペーンにおける県下一斉休日窓口の開設	自動車税の納期内納付を促進するため、県下一斉の休日窓口を地方事務所県税チームで開設し、納税機会の拡大を図る。	各地方事務所	
11		合庁コンシェルジュ	合庁玄関ホール等に職員が交代で立ち、来客への案内等を行い、県民サービスの向上を図る。	各地方事務所	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
12		庁舎等環境整備事業	合同庁舎に勤務する職員が、庁舎周辺及び敷地の美化清掃や冬期間の除雪を実施する。	各地方事務所	新規
13		共同滞納整理のための税務職員交流研修	県及び市町村の税務職員を相互に派遣し、徴収事務の知識習得と技術向上を図り、的確な滞納整理事務の執行により収収の確保を図る。	地方事務所	
14		個人県民税未収金縮減対策	県税チーム職員が随時市町村へ出向き、徴収方法等を検討	佐久地方事務所	新規
15		2006おでかけ」アクションプラン	本年度も地域の声を聴きながらアクションプランを設定し住民・NPO・市町村・職員参加のクロスファンクショナルチームで地域の自律に向け協働で取り組む。	上小地方事務所	
16		上田合同庁舎顧客満足度調査	住民の皆様の声を把握し、行政サービスの向上を図るため、来庁者に対し顧客満足度調査を実施する。	上小地方事務所	新規
17		「人と組織」パワー倍増作戦	職員の隠れた才能・能力を活かすため、既存の組織体制を超えて自在に職員を10チームに編成し、全員参加によってアイデアを出し、構想を練り、実践への提言をしていく。	下伊那地方事務所	新規
18		下伊那行政学院 (Ecole d'administration Shimoina) の開講	学院の講座内容は、所内ユニットが担当する業務内容の講座と、下伊那セミナー(管内知識人から下伊那地方の歴史、文化を学ぶ)からなる。 行政遂行能力を高めたいとする職員が、希望する10講座とセミナーを受講する。所定の単位を受講した職員には所長から行政学院認定書を交付する。	下伊那地方事務所	新規
19		もの言う会	ホームページの充実、合庁のトイレに花を飾る、合庁階段に絵を飾る、駐車場の利用提言、顧客満足度調査(第2弾)等	下伊那地方事務所	新規
20		医薬品等製造業者相談窓口の開設事業	毎週水・金曜日を相談日と設定し、利用者の利便性を図ることにより、事務執行の効率的な推進を図る。	薬務チーム	新規
21		全部見せます！舞台裏探検隊	舞台裏の見学を希望する県民の皆さんを募集し、文化会館の施設や事業を紹介する。	各県民文化会館	
22		お客様感謝の日 ピアノ弾き込み隊	ピアノの保守を兼ね、地域のピアノ愛好者にグランドピアノを気軽に練習できる機会を提供する。	伊那文化会館	新規
23		畜産サポーターサービス事業	畜産農家やペットショップ経営者を訪問し、経営や飼養管理、衛生上の課題解決に向けて支援する。	地方事務所農業自律チーム、木曾農林振興事務所、家畜保健衛生所、保健所、食の安全・生活衛生チーム、農業生産振興チーム	
24		遊休農地解消相談担当(相談員)の設置	・農業自律チームに「遊休農地解消相談担当」を配置し、農業者、市町村等に対する相談窓口となり、情報提供等を行う。 ・市町村、農業委員会等と連携し、農地の遊休防止活動に取り組む。(市町村とともに農地パトロール活動を実施等)	松本地方事務所農業自律チーム	新規
25		建設事務所等による各種説明・相談会の実施 ～行政お出かけ・押しかけ講座～	行政機関自らが積極的に地域に出向き、土木行政に関する説明やPRを行うとともに、意見交換を通じて県民要望の把握に努める。	大町建設事務所	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
26		チェーン着脱場積極的活用事業	地域農産物・地場産品の販売・PR、県産材製品の展示など地域活性化を目的として、チェーンの着脱場のスペースの貸出しを行う。	須坂・長野建設事務所	
27		維持作業の直営化	道路・河川等の維持管理予算が減少する中で、県民サービスの低下を防ぐため、事務・技術職員が直営で維持作業を行う。	南佐久・諏訪・伊那・飯田・下伊那南部・松本・安曇野・千曲・須坂・中野・長野・飯山建設事務所	
28		交通量調査	職員自らにより交通量調査を行い、道路計画、道路改良事業等の基礎資料として活用する。	佐久・上田・伊那・飯田・松本・安曇野・千曲・須坂・中野建設事務所	
29		土木部地域交流事業	土木部管理施設の開放や各種行事・交流イベント等を通じて、地域住民の土木行政に対する理解の促進を図る。	諏訪・伊那・飯田・中野・飯山建設事務所 姫川commons・砂防センター	
30		市町村土木事業に対する技術支援	土木技術職員のいない市町村に対して、職員が出向いて、土木施設の改修、施工管理などの技術支援、助言を行う。	木曾・須坂建設事務所	
31		直営による立木調査事業	職員が直営により立木補償の現地踏査から補償額算定まで行うことにより、経費削減と職員の資質向上を図る。	南佐久・上田・安曇野・須坂建設事務所	
32		職員測量・設計技術力アップ事業	従来業務委託で対応していた小規模の測量・設計業務について、職員がグループを編成し直営により実施し、技術力の向上を図る。	伊那建設事務所 姫川commons・砂防センター	
33		OB活用による土木行政巡視	土木行政経験の豊富な県職員OBを活用し、土木行政の巡視(無認可採石・河川汚濁等の情報提供など)を実施する。	佐久建設事務所	
34		職員による未供用地の一斉草刈り事業	建設事務所の機具に加え、職員が自家用の刈払機等を持ち寄り、広大な未供用地(国道142号佐久南拡幅等)の一斉草刈りを行う。	佐久建設事務所	新規
35		いつでも道路パトロール事業	建設事務所使用の公用車に常温合材、スコップ等を登載し、必要に応じ、出張時に発見した道路の穴ぼこ等の補修作業を行う。	佐久建設事務所	新規
36		直営による砂防林植樹箇所の草刈り	砂防林として植樹した樹木の生長を助けるため、草刈りを直営で行う。(H17ゼロ予算事業において小学生と協働で砂防林を植樹)	須坂建設事務所	新規
37		職員による道路騒音の測定	道路騒音の苦情等に迅速に対応するため、職員が騒音測定を実施し、関係機関との協議、騒音対策に役立てる。	長野建設事務所	新規
38		未利用道路敷等の有効活用研究	遊休県有資産の活用と地域の活性化、防犯、景観の改善に寄与するため、高架橋下、廃道敷等の未利用の土地の貸出し基準等について研究する。	道路チーム	新規
39		住宅性能表示制度等周知促進事業	建築確認申請に対する確認結果を通知する際に、性能表示制度や性能保証制度に関するチラシを配布する。	地方事務所	新規
40		県有施設営繕相談支援事業	現地機関からの要望により、営繕工事にかかる技術相談、工事費審査、検査等の技術的支援を行う。	建築技術チーム 地方事務所	
41		「よくわかる決算」をホームページに掲載	グラフなどで説明したわかりやすい決算概要をホームページに掲載する。	会計チーム	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
42		本庁舎西側入口コンシェルジュ	本庁舎西側入口から来庁する県民等への案内や問い合わせに対処する。局で取組む「あいさつ、声かけ(会計局前廊下の通行者に対するあいさつ)」を徹底し、来庁者に親しみを持ってもらうことによりコンシェルジュの実効を確保する。	会計チーム	
43		適正な建設工事支援事業	建設工事の竣工検査や中間検査において注意すべきポイント、元請・下請間の適正化のための調査の方法、下請トラブルが起きた場合の対処方法などを、検査・調査に同行しての実地研修などの方法で、市町にノウハウとして提供する。	検査チーム	
44		学校何でもポスト	県立高校のメールアドレスや連絡先等公開・周知しメール、手紙等で質問提案など何でも受け付ける。学校の窓口が開いていることを、県教委、県立高校が幅広く広報できるよう工夫する。	県立高校	
45		職員宿舎の有効利用	市町村立学校教職員の入居可能宿舎を選出し、市町村教育委員会へ情報を提供し、入居希望を募る。	保健厚生チーム (財産管理者)	
46		職員宿舎の施設管理DIY	空家の維持管理業務として、立木の伐採・剪定及び草刈り等を行う。	保健厚生チーム (財産管理者)	
47		スポーツ巡回サポート事業	スポーツ活動の現場に赴き、問題点等を把握し、解決策を見い出す一助とする。	スポーツチーム	
48		総合型地域スポーツクラブの活動・立上げ支援	スポーツ振興基本計画に基づく、総合型地域スポーツクラブの立上げや育成を支援するため、立上げを検討している団体や活動中のクラブに対し、巡回により設立や運営に関する指導・助言、また講師派遣等の支援を行なう。	体育センター	
49		ブランドよろず相談窓口	信州の各地域で頑張っている市町村や事業者の方々のブランドづくりの相談を当室が窓口となって受け付け、商工部のパートナーサービスと連携を図りながら職員が地域の皆様と協働してブランドづくりを支援します。	信州広報・ブランド室	新規
50		上伊那花の谷構想	花を中心とした地域づくり活動を推進する。	上伊那地方事務所	
51		「伊那学」commons講座	地域の歴史、文化、資源を再認識し、協働の地域づくりを進めるために、住民、市町村職員、県職員を対象とした講座を開設する。	上伊那地方事務所	
52		一日と畜検査員事業	ホームページ等で県民から参加者を募集し、食肉衛生検査所で行われていると畜検査を実際に体験してもらうことにより、と畜検査と食肉衛生検査所の果す役割について理解を深めてもらう。	食肉衛生検査所	
53		野生鳥獣被害防止対策	野生鳥獣による深刻な被害への対策を職員が地域とともに実行し、野生鳥獣が集落に出没しにくい環境づくりを目指します。	各地方事務所 (自然保護チーム所管)	
54		農村づくり職員実践事業	職員自らが、集落等に出向いて農業者や地域住民と一緒に、農地・農業用水等の地域資源(生産資源、環境資源)の維持保全のための活動に取り組みます。	水と土・郷づくりチーム 各地方事務所 環境森林チーム(環境チーム)	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
55		農家お助け隊	H19年度から本格実施が予定される、「農地・水・環境保全向上活動支援対策事業」を地域が活用できるようにH18は、チーム員2名1組で導入を希望する地区において、制度の説明や施設の機能診断を行い農家を支援する。	上小地方事務所 環境森林チーム	新規
56		集落どこでも農声部事業	職員が集落の方々と意見交換会を行い、意見や要望、集落の課題やビジョン等を把握し、今後の業務や政策形成に反映させるとともに、協働して魅力ある集落づくりに取り組む。	農政部全機関	
57		ラベンダー栽培講習会	塩尻市「ラベンダーin塩尻2006」に協力し、ラベンダー作りの講習会を開催する。	中信農業試験場	
58		食の里づくりモデル地域支援事業	地域住民の自主的な活動に、職員が支援することにより、初期の目的は達せられることから、ゼロ予算事業で実施することとしました。	佐久地方事務所農業自律チーム	新規
59		遊休農地きれいになりたい事業	市町村要望に基づき、地域内の遊休荒地の解消に向けた整備活動を行う。(人的支援活動他)	下伊那地方事務所農業自律チーム	新規
60		建設資材等支給・住民参加型維持事業	住民参加による地域づくりを進めるため、住民が自ら行う身近な道路の維持・修繕作業に対して、建設資材の供給などの支援を行う。	諏訪・伊那・大町・須坂建設事務所	
61		地区ぐるみ歩道除雪事業	地域住民との協働により、これまで実施されていなかった歩道の除雪を職員が率先して行い、地域連帯意識の醸成を図る。	南佐久・上田・伊那・木曾・松本・大町・千曲・須坂・中野建設事務所	
62		住民参加による道路・河川等の維持管理	地域住民との協働によるきめ細やかな活動により、道路・河川・公園等の環境の向上を図るとともに、維持管理に対する相互理解を深める。	南佐久・佐久・上田・諏訪・伊那・木曾・安曇野・大町建設事務所 土尻川 commons・砂防センター	
63		河川愛護団体への職員の参加	河川愛護活動に職員も参加し、河川の現状を把握するとともに住民要望の把握に努める。	伊那・飯山建設事務所	
64		新規事業採択における住民の合意形成システムの構築	新規事業の採択に当たり、事前に住民の合意形成がなされるようなシステムを構築し、事業実施の円滑化を図る。	大町建設事務所	
65		ちいさな命を守る「協働」点検事業	児童・高齢者・身体障害者の目線に立った歩行パトロールをPTA、児童、市町村等とともに実施し、安全で快適な歩行空間の確保を図る。	伊那・松本・中野建設事務所	
66		地域 commons コンシェルジュ	全ての市町村に担当職員を割り当て、地域の諸問題に対応するとともに、住民協働活動に対する支援を行う。	伊那・飯田建設事務所	
67		万水川堤防への「せせらぎの小路づくり」	万水川堤防上の遊歩道整備を住民との協働で行うことにより、河川愛護意識の高揚、廃材等の有効活用、既存自転車の一体的利用の促進を図る。	安曇野建設事務所	
68		地域協働による歩道除雪推進事業	四季を通して安心して歩ける歩道の確保のために、地域の住民と職員が協働で歩道除雪を実施する。	長野建設事務所	新規
69		住民参加型の河川やすらぎ広場整備事業	一級河川浅川の旧河川敷を利用し、地域住民とともに広場の整備を行う。H18年度は広場のコンセプト・整備手法を地域住民とともに定める。	長野建設事務所	新規
70		汗出せ講座	施設や設備・人材を有効活用した講座等の希望やリクエストを県民から募り、センターと希望を出した県民とが共に汗を流して企画・運営する「県民協働“汗出せ講座”」を実施し、信州教育の振興を図る。	生涯学習推進センター	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
71		消防団充実強化支援事業	・消防団員加入促進のための事業所等の訪問 ・消防団活動(火災広報、歳末警戒、訓練)への参加 ・消防団PRのためのホームページの開設(県消防協会との協働)	10 地方事務所 地域政策チーム 危機管理局 消防チーム	新規
72		24時間危機管理情報収集体制	・災害応急対策を迅速かつ的確に実施するため、勤務時間外に当直を行い、24時間365日情報収集を実施する。 ・県民の皆様から災害等の情報を24時間365日受けつけるホットライン「防災110番」の設置により、災害応急対策をより迅速かつ的確に実施する体制を確立する。	危機管理局 危機管理防災チーム	
73		職員非常参集訓練	・勤務時間外において、抜き打ちで職員の非常参集と情報の収集訓練を行うことにより、災害時における迅速な初動体制の確立と職員の防災意識の高揚及び危機管理能力の向上をはかることを目的として、職員非常参集訓練を行う。	危機管理局 危機管理防災チーム	
74		災害時住民支え合いマップ策定推進事業	・市町村は各種災害から高齢者、障害者など災害時要援護者の避難誘導を適切に行うことにより、その生命・身体を守るため災害時要援護者個別避難計画を策定する必要がある。「災害時住民支え合いマップ」を手法とした災害時要援護者個別避難計画を全市町村が策定するよう助言や資料提供などの支援を行う。(社会部、社協ほか県関係機関と連携)	危機管理局 危機管理防災チーム	
75		市町村国民保護計画策定支援事業	平成18年度中に県内81全市町村が「市町村国民保護計画」を策定することとなっている。 このため、全市町村に対し、効果的な計画となるよう、個別にアドバイス等の支援を実施する。	危機管理局 危機管理防災チーム	新規
76		隣接県との災害対策の連携	・浅間山を取り巻く群馬県、両県6市町村、防災関係機関と共同で県境を越えた連絡体制と、情報交換、防災課題の研究を行う。 ・豪雪災害等に備え、新潟県等隣接県との連絡会議の開催を検討する。	危機管理局 危機管理防災チーム	新規
77		指定地方公共機関国民保護計画策定支援事業	平成18年度中に県内37全指定地方公共機関が「市町村国民保護計画」を策定することとなっている。 このため、全指定地方公共機関に対し、効果的な計画となるよう、個別にアドバイス等の支援を実施する。	危機管理局 危機管理防災チーム	新規
78		「のぞみの郷高社」災害時支援活動	合同庁舎と100m程の距離にある「のぞみの郷高社」(知的障害者支援施設)に火災等が発生した場合に、施設からの要請に基づいて、入所者の避難誘導等の支援活動を行う。なお、日頃から災害時に円滑な活動ができるよう、マニュアルを整備し、施設の行う訓練に参加する。	北信地方事務所 地域政策チーム	
79		災害時住民支え合いマップ作成支援事業	いつ災害が起きても高齢者や障害者等が住民の支え合いによって無事に避難できる体制を地域に確立するため、市町村が災害時住民支え合いマップづくりに取り組むよう支援する。	コモンズ福祉チーム 地方事務所	新規
80		お助け県職員養成事業	職員自ら、救命蘇生法の勉強と実技講習を受け、知識と技術を習得し、日頃の危機管理に対する意識の高揚と、事故や災害時における救命措置の実践につなげる。	各保健所 医療チーム	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
81		災害履歴データベース化事業	過去50年間位に発生した災害について、予備調査、現地調査によりデータ収集を行った上で、データベース化しGISにて一元管理を行う。	各建設事務所等 県土活用支援チーム	
82		道路・河川施設等の診断パトロール事業	県が管理する道路・河川施設、特に重要構造物(橋梁、トンネル、ロックシェッド等)のチェック・診断を行い、維持管理の充実・強化を図る。	佐久・諏訪・木曾・大町・須坂・中野・飯山建設事務所	
83		道路利用者による道路情報通報制度	タクシー協会との協力関係により、落石などの路面状況に関する情報の的確な把握を行い、安全な道路環境の確保を図る。	諏訪建設事務所	
84		緊急時の車両借用制度	大規模地震等の非常時における道路の寸断等に対応するため、管内の事業所からパトロール用の原動機付自転車を借用する。	諏訪建設事務所	
85		職員による県管理道路の情報提供事業	県道等により通勤する職員から、穴ぼこ、落石等の道路情報の提供を受け、迅速かつ的確な道路の安全対策を行う。	上田・諏訪・伊那・下伊那南部・安曇野・大町・千曲・中野・長野・飯山建設事務所 佐久高速道事務所	
86		既存の道、既存の川 歩いてじっくり点検、安全確認事業	徒歩による道路・河川の点検を通じて、通常のパトロールでは困難な危険箇所の把握を行う。	伊那・松本・大町・千曲建設事務所	
87		筑北地域における「災害の歴史」の取りまとめ	筑北地域における災害の歴史を資料として取りまとめ、ホームページに掲載し、地域を中心とした防災意識の高揚を図る。	犀川コモンズ・砂防センター	新規
88		建築物の安全・安心のための耐震性等確認事業	マンション、共同住宅、ホテルなど多数の者が利用する建築物の所有者や居住者等を対象に、建築物の耐震性能に係る構造規定の基本的な考え方をわかりやすく説明する。	建築まちづくりチーム 地方事務所	新規
89		県営住宅団地での、こどもの安心・安全パトロール	県営住宅への巡回業務の際を活用し、登下校時の子供達を見守るものとする。	地方事務所	新規
90		市民に積極的に情報やサービスを提供する事業	地勢、地理、地図、交通アクセス、市町村の状況、県政の方向、主要な施策など本県の各種情報を各シートに作成し、海外の企業や自治体、青年海外協力隊員、外国からのお客様などのニーズに応じて提供する。また、併せて、ホームページにおいても情報提供する。	国際チーム	
91		日本語指導者地域ネットワーク事業「地域で支える日本語教育」	県内の日本語教室に対し、日本語教室データカードへの登録を依頼し、日本語教室が抱える問題等の現状把握を行うとともに、日本語学習リソースセンターについて出前リソースセンターを行う。	国際チーム	
92		地域共生コミュニケーター情報提供事業	外国籍県民等支援に自立的に取り組む地域共生コミュニケーターの活動を支えるため、積極的な情報の提供と相互の交換を実現するため、ホームページ「コミュニケーターズ・ルーム」を運営する。	国際チーム	
93		日本語教室等への「多文化共生支援コンシェルジュ」の派遣	外国籍児童の就学支援を行っている団体(日本語教室など)へ訪問し、相談に乗ることにより多様性を認め合い、誰もが生き生き活躍できる多「文化共生社会」の実現を目指す。	国際チーム	新規
94		外国籍県民の自動車税納税相談窓口の開設	管内に多く居住している外国籍県民(ポルトガル語圏)の皆さんに、自動車税への理解を深めていただくため、納税相談及び収納の窓口を開設する。	上伊那地方事務所	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
95		外国籍県民のための問診票作成事業	医療機関で円滑に受診することができるよう、あらかじめ症状、既往症など、該当する項目をチェックしてもらい外国語による問診票を作成し、本県を訪れる外国人に提供する。 ・言語：タガログ語、ハングル語、フランス語、ロシア語について作成準備を進める。 (英語、タイ語、中国語、ポルトガル語は作成済み) ・内容：問診(診療科ごと)、検査・診断、治療・投薬、入院療養、会計等	医療チーム	
96		次代につなげる景観創造事業	企画局が教育委員会等関係機関と連携して、職員が小学校に出向き、体験学習等を通じて児童に景観の大切さを伝える。	各地方事務所	
97		違反広告物等追放パトロール事業	職員が出張の際に違反広告物等の発見に努めてもらい、市町村による早期除去等を促進する。	各地方事務所	
98		県自然環境保全地域等標識修繕事業	県自然環境保全地域等の標識板の修繕を職員が実施する。	自然保護チーム	新規
99		行政情報センター新着図書情報の電子メール配信サービス	希望者が県のホームページ上から登録した電子メールアドレスに行政情報センターの新着図書情報を配信する。	情報公開・法規チーム	
100		携帯電話不感地域情報収集事業	・県職員から、出張や行楽地へ出かけた際に携帯電話の不感を体験した場所等の情報を収集する。 ・統合型GISを活用した情報収集を実施する。	情報政策チーム	
101		ITサポートセンター事業	IT基礎技能習得住民サポート事業で養成してきた、地域のIT指導者である「地域ITリーダー」の活用を図る。 ・市町村で活用してもらえるよう、名簿配布等で周知を行う。 ・市町村や地域の公共的団体、地元の自治会等からIT講習等の要望時に、ITリーダーの斡旋を行う。	情報政策チーム	
102		教育委員会のメールマガジンの発行	県内教育機関あてにメールマガジン「教育ながの」を毎月発行(幼稚園・保育園等へ範囲・内容を拡大、一般県民向けにも配信)	教育振興チーム	
103		長野県地域人権ネット	人権問題に取り組む団体等の情報を県のHPに掲載するとともに、各種人権情報を登録団体にお知らせする。	文化財・生涯学習チーム 教育事務所	
104		メールマガジンの発行	図書館を利用したことがない方々にも興味を持っていただけるよう、また、日常的に利用するきっかけづくりとして、図書館の最新情報やイベント情報などをメールで配信する。	県立長野図書館	新規
105		高齢者虐待防止推進事業	高齢者虐待防止のために、事業者研修会、施設長研修会、市町村担当者会議(本庁、現地機関)等を通じて、市町村内の見守りネットワークの整備、困難事例検討への参加を促進する。	長寿福祉チーム	
106		虐待予防のための住民啓発事業	虐待予防のために住民啓発用の標語を募集し、広報誌等に掲載する。	長野地方事務所 地域福祉チーム	新規
107		生活保護自律、就労支援強化対策ステップアップミーティング	生活保護自律、就労支援強化対策ステップアップミーティングを開催し、生活保護受給者の自律をめざしたより実践的な自律支援プログラムを作成する。	コモンズ福祉チーム 福祉事務所	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
108		社会福祉施設の災害時における地域協定推進事業	地方事務所地域福祉チームは地域政策チームと協力して地域協定の未締結の施設に対して締結を働きかける。地域住民等と協定を結ぶことが難しいと考えられる施設については、社会部各チームと地方事務所の職員が他の方策について個別に相談に応じる。	社会部各チーム 地方事務所	新規
109		社会福祉施設ボランティア体験事業	職員が社会福祉施設において利用者との交流や施設職員との共同作業等を通じて、現場感覚を身につけるとともに、現場の声を聞き施策に反映する。	社会部各チーム 地方事務所	新規
110		福祉有償運送に係る支援	・道路運送法の改正に対する対応策を検討し、市町村に提案 ・地方事務所設置の運営協議会から市町村設置の運営協議会への完全な移行を支援 ・運転者研修会の継続的な実施体制を構築	コモンズ福祉チーム 地方事務所	新規
111		介護保険事業者指導によるサービスの質の向上	平成17年度に実施した介護保険事業者指導の結果を介護保険事業者が参加する長野圏域介護保険事業者連絡協議会の研修会等で周知し、介護サービスの質の確保・向上を図る。	長野地方事務所 地域福祉チーム	新規
112		元気高齢者地域支援活動推進事業	地域支援活動を行っている元気な高齢者の活動事例集を作成し、高齢者の社会参加活動を促進するとともに、老人大学の生徒による地域支援活動を進める。	長寿福祉チーム	新規
113		心友・傾聴ボランティア事業出前講座	心友・傾聴ボランティア事業に関して、老人クラブ連合会の指導者研修会、老人大学の講義での説明、出前講座に出向くなど、積極的なPR活動を行う。	長寿福祉チーム	新規
114		長寿多様な住まい啓発事業	高齢者の居住施設の現況調査を行い、事業者・住宅部など関係者との協議、先進事例等の調査、相談会の実施を通じて、相談センターのあり方を検討する。	長寿福祉チーム	新規
115		SOMーブメントの普及事業	各地域での普及に当たり、今後どのような支援を望むか、地域に出向き取り組み状況などを聞き、必要な支援を検討する。	障害福祉チーム	新規
116		県外病院入院中の筋ジス患者等の県内生活支援策検討事業	県外病院入院中や在宅の筋ジス患者本人や家族と面会し、意向調査を行うとともに県内で生活していくための支援策を検討する。	障害福祉チーム	新規
117		障害者就労事例収集広報事業	障害者就労の「好事例」「モデル事例」「先進事例」等を収集し、広報する。	障害者自律支援チーム	新規
118		子ども会活動元気出せ事業	障害児と健常児とがスポーツ等を通じた交流事業を開催する。	長野地方事務所 地域福祉チーム	新規
119		青少年健全育成啓発活動	コモンズ支援車を活用し、毎週水曜日に全職員が交替で啓発活動(パトロール)を実施する。	長野地方事務所 地域福祉チーム	新規
120		小規模事業者向けお仕掛け講座	・小規模な事業所では取り組みが弱い、賃金や労働時間に関する問題や男女共同参画等人権に関する問題、また不当要求防止などの研修会を開催する。 ・開催の機会・場所等は、商工会等の協力を得て、役員会の後など、会合の内容に合わせるにより働きやすい明るい職場作りを仕掛ける。	北信労政事務所 (長野地方事務所 産業労働チーム)	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
121		母子自律支援プログラム策定事業	ひとり親家庭自律支援員が児童扶養手当受給者に対して自律支援プログラムを策定し、就業と自律を促進する。	こども・家庭福祉チーム 福祉事務所	新規
122		こどもサポートプラン(ひきこもり)支援事業	こどもサポートプランの中で、「ひきこもり」対策として動物愛護センターに来館し、犬の散歩体験等のふれあいを体験する。	動物愛護センター	
123		アニマルセラピー支援事業	動物の癒し効果を心身症、自閉症などの治療に応用するため、医療機関及び医師と連携したアニマルセラピー実施場所としての活用を図る。	動物愛護センター	
124		原爆特別検診啓発事業	平成17年度に「被爆後60年～信州の医療支援～」のイベントを実施し、長野県の被爆者に対する医療支援について、広く県民に知ってもらった。本県では、原爆専門医による特別健診を実施しているが、このような健診を行っているのは広島、長崎、長野の3県であることから、特別検診等の医療支援の実施について県民に知ってもらうため、「広報ながの」に掲載する。 実施時期:特別検診7月実施前の6月に掲載	健康づくりチーム	新規
125		発達障害ペアレントサポート事業	各地の自閉症親の会と協力し、保護者を対象にして療育相談を行う。	精神保健福祉センター	新規
126		アディクションファミリーミーティング	ギャンブルなどの嗜癖問題を抱えた家族が、自分自身を取り戻し回復することができるよう、グループミーティングを行う。	精神保健福祉センター	新規
127		リタイア犬ホスピス事業	県内の身体障害者補助犬使用者が使用したリタイア犬の中で、動物愛護センターで使用を希望する補助犬を引取りリタイア犬のホスピスとして活用する。	動物愛護センター	新規
128		不登校児童動物ふれあい体験事業	学校等に居場所がない児童等が、動物愛護センターにおいて動物の世話やしつけ、散歩体験等を通じて、自信の回復を図る。	動物愛護センター	新規
129		長野保健所版MCG種まき(伝達・普及)事業	母親の育児不安を解消し、育児を楽しめる環境づくりをするため、子どもと離れて、母親が自分を振り返り本音を語るグループミーティングを地域で実施する。 実施後は、その地域に根付かせることができるよう継続した実施のために担当者を支援していく。	長野保健所	新規
130		高齢者施設のための「知って防ごう結核」事業	結核の集団感染を未然に予防するため、結核についての理解を深め、施設での予防を図ってもらう。管内(長野市除く)の高齢者福祉施設を会場にして、所職員によるおでかけ研修会を実施する。また、不安を取り除くため施設からの結核に関する相談に応ずる。	長野保健所	新規
131		くつろぎコーナー事業	地域に親しまれる病院づくりの一環として、患者とのコミュニケーションを図るため、毎月1回、病院内のくつろぎコーナーで、肩もみ、爪きり、耳掃除等のサービスを、看護科職員が提供する。	阿南病院	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
132		高齢者等のための住宅何でも相談事業	老人大学や各種研修会の参加者を対象に、高齢者の住宅の現状、住宅のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化の必要性、リフォームのポイントなどをテーマとした簡単な講義と質問コーナーからなる「高齢者に優しい住まいづくり講座」を実施する。 また、希望があれば、個別に住宅のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化リフォームについての相談にも応じる。	建築まちづくりチーム	
133		公共施設ユニバーサルデザイン度チェック事業	公民館や市町村の公共施設などの施設を地元の障害者団体や老人団体などと訪問し、スロープ、手すり、トイレなどでのユニバーサルデザインの普及状況と利用のしやすさについて調査する。 調査した結果については、改善を要する事例などとして、施設管理者への提言や県のホームページでの周知を行う。	実施可能機関	新規
134		県営住宅の福祉施設活用支援事業	社会部・衛生部と連携し、市町村福祉部局・社会福祉法人・NPO法人等へ県営住宅のグループホーム、宅老所利用について周知するとともに、実施要望のある法人等については職員が出向いて実施事例の紹介や要望の把握を行う。	住宅チーム 実施可能機関	
135		禁煙セールスマン事業	「たばこによる害のない信州」を目指し、衛生部職員が施設等へ直接出向き、「たばこの煙の健康への影響」について正しい知識を提供し、受動喫煙防止対策推進への協力を要請する。	健康づくりチーム	
136		健康ウォーキングコース普及啓発事業	市町村などで、ウォーキングコースとして広く親しまれているコースをホームページ等で紹介する。また、併せてウォーキングの効用などを紹介する。	健康づくりチーム	新規
137		食の安全・安心モニター創設事業	消費者から食の安全・安心モニターを公募し、地域ミーティング、ブロックミーティング、全県ミーティングを開催し、意見要望等を募る。また、食品衛生体験事業も行う。	各保健所	新規
138		「働き盛りにも楽食推進」	食育の日(毎月19日)の合庁食堂定食メニューを利用して食事バランスガイドを表示する。	松本保健所	新規
139		「長生き長寿の安心食推進」	グループホーム、デイサービス、宅老所などの50食未満の食事提供施設職員に対して、安全で安心な食の出前講座を開催する。	松本保健所	新規
140		落下防止柵の設置	人工地盤駐車場からの落下防止のため、間伐材を利用した柵を設置する。	諏訪地方事務所	新規
141		上川アダプトプログラムへの参加	上川アダプトプログラム(上川の河川清掃)に参加し、上川右岸の清掃及びアレチウリの除去を行い、美化運動を推進する。	諏訪地方事務所	新規
142		木曽合同庁舎庭園改修事業	H16に引き続き、改修を実施し、花壇等の整備を行い、地域に開かれた公園化を図る。	木曽地方事務所	
143		バス停(広はん橋)花いっぱい事業	バス停付近が開散としているため、プランターの花を設置し景観を良くする。	木曽看護専門学校	新規
144		学校花壇花いっぱい事業	学校前花壇に花を植えて景観を良くするとともに、学校をPRする。	木曽看護専門学校	新規
145		せせらぎサイエンス指導者養成事業	身近な水生の生物を観察し、水質の状況を把握するなど、水辺体験を通じた水環境保全意識の一層の高揚を図るため、水生生物調査等を行う指導者を養成する。	水資源チーム	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
146		アレチウリ駆除活動拡大事業	県内の主な河川流域で急速に繁茂拡大している外来種のアレチウリを、県職員が市町村、関係団体等との協働により、駆除活動に取り組む。	地方事務所 (水資源チーム所管)	
147		エコ活動のためのメールマガジン発行	合同庁舎内のエコ活動を推進するため、PR用メールマガジンを配信する。	長野地方事務所	
148		模型を利用した水洗化促進への取り組み	下水を処理してきれいにする污水处理の模型を利用して下水道のPRを行い、水洗化の促進を図る。	生活排水対策チーム	
149		生活排水コンシェルジュ事業	市町村設置型の浄化槽の整備を推進するため、その計画段階から職員を市町村等へ派遣し、市町村が整備・維持管理する仕組みづくりを支援する。	生活排水対策チーム	
150		農業農村広報事業	ホームページを活用して、農業・農村の大切さを広く県民の皆さんに伝えるため、歴史的農業施設や自然環境保全の取り組みなど、農業農村の文化、伝統の紹介を行う。	水と土・郷づくりチーム 各地方事務所 環境森林 チーム(環境チーム)	
151		「ハイドリック・パワー」プロジェクト出前講座	農業用水路を利用する小水力発電に関する基礎調査結果を踏まえ、要望のある農業生産法人、個人等に職員が出向き、その情報提供を行う。本年度は、小谷村において農業用水路を活用したマイクロ水力発電の導入について調査・研究を進め、具体的な提案を行いたい。	北安曇地方事務所 環境 森林チーム	
152		地域用水学習会	地域の農業用水を地元の小学生に紹介し、その歴史と地域との関わりを理解してもらおうとともに、地域の環境美化に対し関心を深めてもらう。	松本地方事務所 環境森 林チーム	
153		生きもの引っ越しお助け事業	改修により落水する水路において、工事に先立ち、そこに棲む生きものを一時的に別の場所に移す作業(引っ越し)を地域住民と一緒にし、併せて観察会を行う。 実施予定:善光寺平用水(長野市)、芋川用水(飯綱町)	長野地方事務所 環境森 林チーム	
154		産業廃棄物減量化・適正処理実践協定事業	自主的な取り組みによる減量化・適正処理の促進及び情報公開による廃棄物処理に対する県民理解の促進並びに優良業者の育成を図る。	廃棄物対策チーム	
155		産業廃棄物情報電子メール配信事業	産業廃棄物関連情報(法令改正、減量化・適正処理情報等)を事業者へ直接配信し、迅速で確実な情報提供及び減量化・適正処理の促進を図る。	廃棄物対策チーム	
156		県職員による不法投棄率先監視事業	県職員が、通勤や出張の機会あるいは休日等に、不法投棄又は野外焼却を発見した場合、速やかに、廃棄物監視指導チーム又は地方事務所環境森林チームに通報する。	廃棄物監視指導チーム	
157		ブラックバス・ブルーギル対策県民参加促進事業	外来魚問題に関して啓発するため、勉強会を開催する。	農業生産振興チーム	
158		ふるさとの森林づくり県民運動	「長野県ふるさとの森林づくり条例」の具現化、「信州の森林(もり)づくりアクションプラン」の実現に向けた様々な取り組みを職員が率先して実行し、地域から森林づくりの機運を高めていきます。	生活環境部 林務部 各機関	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
159		環境改善に向けたロードセー ルス事業	有料道路の利用促進、環境に配慮した運転マ ナーの徹底などについて、高速道路SA・PA、道 の駅等におけるチラシ配布などによりPRを推進 する。	道路チーム	
160		職員による道路・河川一斉清 掃	行楽シーズン前や供用開始前に道路清掃、空 き缶・ゴミ拾いを行い、利用者に対するイメージ アップと道路・河川の愛護思想の普及を図る。	佐久・下伊那南部・木曽・松本・ 安曇野・大町・須坂・中野・飯山 建設事務所	
161		道路付属施設等の発生材の 登録と再使用	工事等で発生する道路付属施設(ガードレール、 道路照明、側溝蓋等)について、データ登録・情 報交換により再利用を推進する。	佐久・大町・飯山建設事務所	
162		Jロード・クリーンアップ作戦	職員による「Jロード清掃隊」を組織し、道路のゴ ミ拾いを行う。	上田建設事務所	新規
163		資源活用事業	今まで建設廃棄物として処理していた道路上の 倒木について、県有地に集積し県民に活用して もらうことにより、資源の有効利用とコスト削減を 図る。	飯田建設事務所	新規
164		松川ダム堆積土の有効活用 事業	松川ダムの堆積土について、公共工事以外に 民間業者に対して受け入れ希望者を募集するこ とにより、堆積土の有効活用と処理コストの縮減 を図る。	飯田建設事務所	新規
165		沿道美化事業	職員が県管理道路の沿道に草花等の植栽を行 い、道路環境の改善を図る。	飯山建設事務所	新規
166		ハイドロパワー整備事業	既設砂防えん堤等の砂防施設において、マイク ロ水力発電等のクリーンエネルギーを開発する ため、開発可能地点の調査を行う。	砂防チーム	新規
167		野尻湖における水草帯のの 復元活動	野尻湖の水環境保全のため、水草帯の復 元活動を地域住民とともに図る。	環境保全研究所	
168		どこでも食品衛生掲示板事業	スーパーマーケットや市町村の協力を得 て、食品衛生に関する情報を電子メールや FAXで配信し、リアルタイムに店舗や施設 内に掲示することにより、多くの県民にわかり やすい情報を提供する。	食の安全・生活衛生チー ム	
169		高齢者・障害者の消費者トラ ブル防止事業	消費者トラブルから高齢者世帯、障害者世 帯を守るため、ホームヘルパー等と県・市 町村の消費者行政担当窓口との連携によ り、啓発・相談体制を強化する。	生活文化チーム 各消費生活センター	
170		消費者被害防止ネットワー クづくり	高齢消費者等を悪質商法から守るための 地域ネットワークづくりの促進	各消費生活センター	
171		消費者情報提供事業(新聞)	新聞へ消費者トラブルに関する啓発情報 を定期的に掲載して消費者への啓発を行 う。	各消費生活センター	
172		交通安全教室開催事業	交通安全知識を普及・啓発するため、交通 安全教室を開催し、啓発ビデオの上映や交 通安全講話等を実施する。	生活文化チーム	
173		消費者問題地域懇談会	消費者の声を施策に反映させるため、消費 者との意見交換を行う。	生活文化チーム	新規
174		歩道パトロール点検事業	歩行パトロールによる歩道点検を行い、安全で 快適な歩行空間の確保を図る。	飯山建設事務所	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
175		市町村公営住宅関係業務支援事業	市町村の公営住宅や特定公共賃貸住宅の建設・改善に係る整備手法、検査、補助制度活用や管理運営に係る法令改正の取り扱い、家賃算定等の専門的業務に関して、住宅課職員が相談に乗り、助言等を行うことによって、市町村の公営住宅供給と運営を支援する。	住宅チーム 地方事務所	
176		松空エアポート・セールス事業	担当職員(外交販売員)が県内外の旅行会社、学校等を訪問し、企画旅行商品の造成依頼等のセールスを行う	交通政策チーム	
177		白馬山麓に"エコゲレンデ"をつくる事業	四季を通じ、スキー場とその周辺エリアをエコロジーに配慮しながら整備し、新しい全国から注目されるようなスキー観光地モデルづくりを行なう。	北安曇地方事務所	新規
178		高齢小規模和牛繁殖経営相談事業	高齢小規模和牛繁殖経営農家を対象に繁殖・飼養衛生管理等に対する助言と技術支援を行う。	飯田家畜保健衛生所	
179		特用家畜なんでも相談窓口事業	飯田・下伊那地域に多い山羊・地鶏・家兎等の特用家畜について飼養衛生管理に対する助言・情報提供・技術支援を行う。	飯田家畜保健衛生所	新規
180		バトラーサービス	商工部の職員が「よろず承り」の精神で企業を訪問(営業マン)し、経営上の課題はもとより、様々な相談、要望も親身になってお受けし、課題の解決までバイネームで対応する。各地方事務所産業労働チーム及び産業政策チームに配置した11名のチーフバトラーをはじめとする商工部職員153名が、関係機関と連携して継続的な支援を行い、課題解決まで寄り添ってお手伝いをする。	各地方事務所 商工部各チーム	
181		金融機関との連携事業	地域企業と密接な関わりを持つ金融機関の営業担当者に県の施策を説明し、事業者にも広く県の施策を紹介してもらうことにより、県施策のより広範囲な活用促進を図る。 また、併せて意見交換を行うことにより、利用者ニーズを把握し、県の施策に反映させる。	各地方事務所 産業政策チーム ビジネス誘発チーム 産業技術支援チーム	
182		ものづくり産業の環境対応情報提供事業	中小企業における環境問題対応の意識を高め、環境に係る情報を早く正確に伝えるため、最新の環境対応情報をホームページにより提供する。	産業政策チーム 産業技術支援チーム 工業技術総合センターほか	新規
183		信州あぐりブランドプロジェクト	バイネームで生産された信州産の秀逸な食材等を、県外の著名なレストラン、料理店や百貨店などへ直接売り込む。	産業政策チーム	
184		商工会等支援チーム事業	商工部職員自らがチームを編成し、統合・広域連携に向けた取り組みの支援等を行うことにより、小規模企業支援策の改革を促進する。	各地方事務所 商工会派遣職員 産業政策チーム	
185		チャレンジ枠のフォローアップ事業	・18年度チャレンジ枠において、採択されなかったものの、19年度採択に向け事業の再構築を計画したり、新たにチャレンジ枠の活用を検討する商工団体に対して、企画立案への助言や、ブラッシュアップ(磨き上げ)などの支援を行う。 ・18年度の事業実施団体には、概ね四半期ごとに実施状況報告を求め、事業の進捗状況を把握し、必要な助言等を行い、着実な事業成果に繋げてゆく。	各地方事務所 商工会派遣職員 産業政策チーム	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
186		信州農産物輸出環境づくり支援事業	「信州ブランドを海外へ」推進実行委員会とタイアップし次の事業を実施する。 ・植物検疫現地研修会の開催 台湾向けの「りんごの木オーナー制度」のオーナー園地の検疫対策を確実にするための研修会の実施	産業政策チーム (農業生産振興チーム)	新規
187		信州ベンチャー企業優先発注事業	県の中小企業支援施策を活用した県内中小企業が生産する新商品を県各部に紹介し、県内中小企業からの新商品の購入促進を図るとともに、ユーザーとしての声を中小企業にフィードバックする。	ビジネス誘発チーム	新規
188		産業人財育成支援ネットワーク事業	公共・民間の教育訓練機関や業界団体等と連携し、教育訓練資源の情報を県のホームページ(ポータルサイト)で一元的に提供することにより、産業人財の効率的・効果的育成を支援する。	雇用・人財育成チーム	新規
189		「旬の食材情報」提供事業	管内10箇所の直売所から「旬の食材」の商品情報や販売状況を毎週金曜日までに提供してもらい、地方事務所で取りまとめの上、翌週の水曜日に地元「市民タイムス社」の紙面と地方事務所産業労働チームで運営している「味覚と文化の地産地消情報サイト D-AJI」に掲載して情報発信していく。	松本地方事務所	新規
190		おでかけセンター技術支援事業	工業技術総合センターの各部門から離れた地域にセンターの職員が出かけていき、センターのPRや技術相談等を行い、身近な技術の診療所として企業の技術支援を行う。	工業技術総合センター	新規
191		地域食材供給活動支援	生産者や学校栄養職員への情報提供、生産供給者への栽培技術等支援	諏訪地方事務所農業自律チーム	
192		水産情報宅配便	地域関係者等からの要望により講師(職員)を派遣し、講演・研修会等を行う。	水産試験場	
193		信州農業イノベーター創出事業	信州農業のリーダーを育成するため、模範となる農業者との出会いを支援します。	農業政策チーム、各地方事務所(農業改良普及センター)	新規
194		サンデー就農相談会の開催	Uターン者、農家子弟等の就農を支援するため、サンデー(休日)に相談会を開催する。	農業政策チーム、各地方事務所(農業改良普及センター)	
195		米粉パン普及啓発事業	学校給食での米粉パン導入を促進するため、米粉パン供給に関する技術支援や情報を提供する。	農業政策チーム、農業生産振興チーム、保健厚生チーム、産業政策チーム	新規
196		県オリジナル食材PR事業	県の農業試験場で開発されたオリジナル品種で、信州の食材として秀逸な信州サーモンや信州黄金シャモなどを、広くPRする。	農業政策チーム、農業生産振興チーム	新規
197		田舎暮らし案内人事業	長野県に田舎暮らしや・就農を考えている方へのワンストップサービスとして、農政部農業政策支援チームに専用のパトラーである「田舎暮らし案内人」を設置し、支援する。	農業政策チーム、商工部産業政策チーム	新規
198		原産地呼称管理制度運営事業	そば粉の基準策定について検討する。	農業生産振興チーム、産業政策チーム	新規
199		家畜堆肥利活用土づくり推進事業	家畜堆肥の利用促進を図り、耕畜連携を推進するため、展示圃の設置や研修会等を行う。	農業生産振興チーム、地方事務所農業自律チーム、木曾農林振興事務所	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
200		地域で挑戦する信州園芸支援事業	青果物マーケットアドバイザーからの流通情報の提供や生産者と加工等の業務需要との橋渡しを実施する。	農業生産振興チーム、地方事務所農業自律チーム、木曾農林振興事務所	新規
201		きのこサポーター事業	えのきたけ、ぶなしめじ及びエリンギ生産者を訪問し、栽培・経営上の課題解決に向けて支援する。	地方事務所農業自律チーム、木曾農林振興事務所、農業生産振興チーム	新規
202		変革に勝つ！野菜産地活力創造事業	意欲ある野菜農業者グループのリサーチや野菜産地を考える地域懇談会を実施し、課題の把握と解決について支援する。	佐久地方事務所農業自律チーム	新規
203		肉用子牛の里づくり事業	耕作放棄地等を活用して繁殖和牛を放牧させ、子牛の生産と耕作放棄地の解消、景観維持をめざす。	佐久地方事務所農業自律チーム	新規
204		木曾家畜市場農家相談窓口開設事業	年5回開催される木曾家畜市場の会場に相談所を開設し、畜産農家の家畜衛生や飼料生産等の相談に対応する。	木曾農林振興事務所 松本家畜保健衛生所	新規
205		郷土食を伝え隊	管内にある伝統的な郷土食のレシピを毎月2～3種ホームページで紹介し、若い世代の皆さんに郷土食を伝えたい。	長野地方事務所農業自律チーム	新規
206		ポジティブリスト制度啓発ローラー作戦	ポジティブリスト制度の導入(5月29日～)に伴い、制度の啓発の遅れが心配される農産物直売所出荷者と市民農園利用者に対して、積極的に出前講座を実施し、啓発を図る。	長野地方事務所農業自律チーム	新規
207		信州の木営業活動	県職員が営業マンとなって信州の木の利用を積極的に進めます。	林務部各機関	
208		間伐材有効利用促進	地域の方々との協働により、移動式製材木及び移動式チップパーを活用し、未利用間伐材の有効利用を促進します。	生活環境部 林務部 各機関	新規
209		森の技術屋率先実行	各地域の特性や現状に合わせて柔軟にテーマを定め、多様な主体との協働による取り組みを各機関ごとに率先して実行します。	生活環境部 林務部 各機関	
210		公共事業により発生する伐採木の処理	公共事業により発生する伐採木のリサイクル(民間・地域に安価で提供)により、経費削減、資源の有効活用、木材産業の活性化を図る。	諏訪・伊那・大町建設事務所	
211		長野県産新工法等PR事業	県産材活用の推進を図るため、官民共同で開発した「信州型木製ガードレール」等について、名刺への掲載等によりPRを行う。	飯山建設事務所 道路チーム	
212		資材、工法調達の専門家配置による公共施設整備の新たな展開	新技術、新工法の導入・普及を推進するため、技術職員による専門チームにおいて、建設業者の技術提案の募集や情報収集を行う。	木曾建設事務所	
213		土木工事の進捗状況情報提供サービス	各種媒体を利用し、工事の進捗状況等(発注計画、実施箇所等)の情報提供を行う。	各建設事務所等 県土活用支援チーム	
214		信州の木活用住宅施工業者情報提供事業	県産材を50%以上活用した良質な住宅を建設したところのある工務店のリストを県のホームページにおいて情報提供する。	建築まちづくりチーム	新規
215		信州の木活用住宅普及対策研究事業	信州の木活用住宅のより一層の普及を図るため、木造住宅建設の担い手である地域住宅産業等の方々と合同で、現行助成制度の見直しを含めた研究を行う。	建築まちづくりチーム	新規
216		信州木づくりの家認定グループのネットワークの構築事業	各グループの代表の参加を募り、それぞれの活動内容の情報交換を行い、活動のネットワーク化について意見交換を行う。それぞれの活動を相互に補完する連絡体制を構築する。	建築まちづくりチーム	新規

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
217		「ブタさん、いのちをありがとう」全国発信大作戦	既にゼロ予算で作成された、食と命を考えるDVD「ブタさん、いのちをありがとう」を全国にPRし、希望者に配布していく。	政策促進チーム 秘書チーム 教育委員会各チーム ほか各部局各チーム	新規
218		学校飼育動物担当教職員研修会	学校で飼育されている動物の飼育環境の改善を図るため、教育委員会及び県獣医師会と協働し学校教職員のための研修会を開催する。	動物愛護センター	
219		動物学級ホームステイ事業	学級単位にウサギ・モルモットを貸出し、正しい飼育方法の普及と動物飼育を介しての命の尊さ、諸問題への解決の力を育成する。	動物愛護センター	
220		職場体験受入事業	獣医師志望者、畜産就農希望者に家畜保健衛生所での業務及び畜産農家等での現場作業を体験してもらうことで自らの適性を見極め、進路決定の参考にしてもらうとともに、優秀な家畜保健衛生所職員確保の一助とする。	長野家畜保健衛生所	
221		地域の食材満載給食支援事業	保育園、幼稚園、学校等の給食への地域食材提供がさらに進むよう、地域の実情に即した仕組みづくりの支援活動を行う。 ・生産者や学校栄養職員への情報提供、生産供給者への栽培技術等支援 ・各市町村等で行われる生産者、栄養職員が参集する食育、食農会議での情報提供 ・各種イベントでの地域食材のPR活動	各地方事務所 農業改良普及センター 各教育事務所	
222		牧場で牛と青空教室	放牧中の公共育成牧場において、小学生に対して牛についての青空教室を実施する。	上伊那地方事務所農業 自律チーム、伊那家畜保健衛生所	
223		学童教育協力事業	小学生等を対象とした試験場の見学案内を行う。	水産試験場	
224		乳用牛との1日体験学習	小学校に、地元酪農家から成牛と子牛を搬入し、児童に対して搾乳などの体験学習を実施する。	上伊那地方事務所農業 自律チーム、伊那家畜保健衛生所	新規
225		職員先生	職員が先生となって、小中学校の児童・生徒に対して砂防施設・ダム施設の役割や自然災害などに関する説明を行う。(見学会、学習会の開催など)	伊那・松本建設事務所 土尻川 commons・砂防センター	
226		こんなもの見たことないぞ！プロジェクトS見学会	大型土木構造物の見学会を実施し、土木施設に対する理解促進とイメージアップを図る。	姫川 commons・砂防センター	
227		移動教育委員会	・教育委員会定例会を各地で開催 ・教育委員、事務局職員による授業参観等 ・県民、児童・生徒等と教育委員の意見交換の実施	教育振興チーム	
228		県短期大学教員による出前講座	県民等が行う文化活動、研修事業、生涯学習などに教員を講師として無報酬で派遣し、その活動を総合的にサポートする。	短期大学	
229		長野市内の高等教育機関との単位互換事業	長野市内高等教育機関が、相互の交流と協力を促進し教育内容の充実と質の向上を図るため締結した単位互換協定に基づき、「特別聴講学生」を受け入れる。	短期大学	
230		ふれあいジャーニー夏休み	夏休み中に、高校生等と自律学校の児童生徒が養護学校の寄宿舎で交流体験活動を行う。	自律学校	
231		個性豊かな作品をみんなに	自律学校の児童生徒が描いた絵を、パソコンの壁紙やスクリーンセ이버として利用するとともにこども達の今後の励みとする。	自律教育チーム	

No.	区分	事業の名称	事業の内容	実施機関	備考
232		地域教材開発シリーズ 「信州を学ぼう」	学校で信州について学ぶ際に利用できる、自然、文化、動植物、伝統芸能などに関する資料を作成し、総合教育センターのHPに掲載する。	教学指導チーム	
233		教育委員会ふれあいギャラリー	来庁者や職員に潤いとゆとりを与えるため、児童生徒の絵画を教育委員会事務局のフロアーに展示する。	教学指導チーム	
234		総合教育センター施設・設備 開放事業	親子向けの体験教室を開講することにより、施設等の有効活用を図るとともに、センターを広く県民に理解していただく。	総合教育センター	
235		図書館ブックカウンセラー事業	県立長野図書館の司書が地域に出向き、小学校低学年までの子供を持つ親を対象に、絵本に対する講座等を開催する。	県立長野図書館	
236		メモリアルデー資料展示	年間を通じて定められている記念日や祝日、特別週間等のメモリアルデーに関して、由来や成立過程等を記載したパネルやリーフレット、図書資料や視聴覚資料等を展示する。	県立長野図書館	
237		県立長野図書館企画展	「本の世界」に興味を持っていただくきっかけづくりとして、企画展を開催し、その関連した図書等を紹介する。	県立長野図書館	新規
238		校外歴史教室(問題解決型学習講座)	歴史館の資料を活用して歴史の講義を行うとともに、石のアクセサリーづくり等の体験学習を実施する。	県立歴史館	
239		信州ふれあい歴史講座	歴史館職員が自ら講師となり、県内の歴史・遺跡等についての講座を開催する。	県立歴史館	
240		パソコン初心者講習会	パソコン初心者を対象に、パソコンの基礎技能の講習会を開催する。	生涯学習推進センター	
241		天体観測講座	施設や設備・人材を有効活用した天体観測や天体望遠鏡の操作について技術を習得する講座を開設する。	生涯学習推進センター	新規
242		私立学校に関する情報発信事業	私立学校に関する情報を発信し、県民の理解、関心を深めるとともに、県民の意見をフィードバックし、行政や私立学校運営に反映する。	私学教育振興チーム	
243		ピアカウンセラー巣立ち支援事業	養成講座を修了したピアカウンセラーが、正しい知識のもとに自身を持って高等学校等でのピアカウンセリング活動できるようになるために、性の知識やカウンセリングスキルのブラッシュアップを図る。また、パワーレスに陥らないために精神的な支えを行う。	長野保健所	新規